

令和8年度人文社会科学部研究科（一次募集）

日本語（出題意図）

（産業システム創成専攻 環境・資源マネジメントコース 外国人留学生特別選抜）

アカデミック・ライティングの教材を題材に、日本語能力と学士課程修了相当の基礎的な知識、文化、科学技術、分析力、表現力等を総合的に問うています。

問1（正解）

- 難易度が最も低い科目： 日本語リテラシー
- 難易度が中程度の科目： 日本語リテラシー演習
- 難易度が最も高い科目： 日本語アカデミックライティング

問2（正解）

担当者（参画者） 科目	滝浦真人	草光俊雄	全コース からの教員	一部のコースか らの教員のみ
2017年開設科目	○	○	×	○
2022年開設科目	○	×	○	×

問3（正解）

作者名	宮沢賢治
-----	------

問4（解答例）

学問研究の最大の性格は公共性にあります。研究は先人の知の積み重ねの上に成り立ち、互いの研究成果を蓄積し、共有・比較検討することが求められます。アカデミック・ライティングを学ぶ意義は、この学問研究の公共性を実現するためです。個人的な問題意識や価値観をそのまま表現するのではなく、研究分野の約束事や技法を学ぶことで、先行研究に自分がどのような新しい点を加えたのかを適切に表現できるようになります。（195文字）